

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第26号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



松の葉が刻む朝日も冬至かな (林翔)・・・冬至

冬至とは、北半球において日の出から日の入りまでの時間がもっとも短い(=夜が長い)日のことです。冬至の日程は天文学的に決まり、今年は12月22日です。南半球では同じ日が、もっとも昼の時間が長い日です。なぜ夜が長くなるのでしょうか？ひとことで言うと、「地球の回転軸が傾いているから」です。冬至では南瓜に含まれるビタミンなどの緑黄色野菜で冬を乗り切るために南瓜を味わって栄養をつけるようにしています。このことは明治以降に生まれた比較的新しい習慣と考えられています。また、冬至の風習には柚子湯(ゆずゆ)で心と体を癒すという習慣が江戸時代からあったようです。「東都歳事記」によると、「冬至 今日銭湯風呂屋にて柚湯を焚く」との記述があり、「冬至」を「湯治」にかけ、「柚子」を「融通が利く」(=体が丈夫)にかけて、お風呂屋さんが始めたとされています。



写真：雲仙の霧氷(松尾純伯氏撮影)

報告(1)・・・令和4年度中央審査(東京審査)

標記審査会の八段審査(2日目)が令和4年11月25日(金)日本武道館で開催され、島田貴文氏(長崎県警)が難関を突破し、剣道八段に見事合格されました。八段審査会(2日目)は受審者879名合格者9名1.0%の合格率でした。また、剣道七段は愛知審査で3名、剣道六段は愛知審査と東京審査で5名、居合道六段では東京審査1名が合格しました。日頃の稽古に対する熱い思いや弛まぬ努力の成果が現れたのだと思います。おめでとうございます。

令和4(2022)年11月実施の審査会合格者<東京・愛知県>

令和4年11月(2022年)実施の審査会合格者

<東京都>

■**剣道八段** 1/27名中
(令和4年11月24,25日 東京都)
島田貴文 50 県警
一次合格： 2名
(島田貴文、白石政雄)



剣道八段合格 島田貴文 県警

<敬称略>

令和4年11月(2022年)実施の審査会合格者

<愛知県・東京都>

■**剣道七段** 3/13名中
(令和4年11月12日愛知県)
松山 彰 50 佐世保
大石 安次 66 三菱
門脇 明洋 67 西彼

■**剣道六段** 5/10名中
(令和4年11月12日愛知県)
(令和4年11月18日東京都)

杉本 泰裕 40	佐世保 愛知
浦川 裕匡 51	三菱 愛知
法村 文孝 56	上五島 愛知
畷本 辰朗 28	県警 東京
宮崎 嵩文 36	県警 東京

■**居合道六段** 1/2名中
(令和4年11月27日東京都)
田口春男 72 生武館・大村市

<敬称略>

中央審査合格者名簿【称号】

※コロナ感染防止の為書類審査のみ

■**剣道教士** (4名)
(令和4年11月18日東京都)
林田一也 50 島原市
吉永則生 55 平戸市
竹本清孝 57 西彼
内川哲治 67 西彼

■**剣道錬士** (10名)
(令和4年11月18日東京都)
松尾大樹 30 県警
山添 匠 33 県警
三田村大輔 44 長崎市
山下 真 46 大村市
白石勝己 50 大村市
大島かつき 50 諫早市
中尾真二 54 大村市
益満靖夫 55 佐世保
竹市裕子 57 諫早市
前川 昭二 73 東彼

<敬称略>

報告(2)・令和4年度 ねりんピック剣道競技交流大会

令和4年11月12日(土)~14日(月)に毎年、各都道府県持ち回りで開催される「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会の剣道競技」は神奈川県伊勢原市体育館で開催され、67チーム、388名が参加して熱い戦いが繰り広げられました。

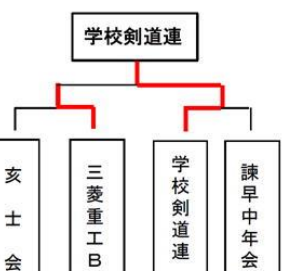




長崎県チームは予選を1位で通過し、決勝トーナメントで神奈川県Bチームに惜しくも敗れましたが優秀賞を受賞しました。

<p>優勝 神奈川県 A 準優勝 山口県 第3位 神奈川県 B、横浜市 A</p>	<p>優秀賞 鹿児島県、栃木県、愛媛県、横浜市 B、北九州市、名古屋市、福岡市、滋賀県、長崎県、相模原市、川崎市、横浜市、佐賀県</p>																																																																																										
<p>ねりんピックかながわ2022剣道交流大会 令和4年11月13日(日)・14日(月) 於:伊勢原市体育館</p> <p style="text-align: center;">予選リーグ【第2試合場】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>5ブロック</th> <th>長崎県</th> <th>福島県</th> <th>鳥取県</th> <th>大阪市</th> <th>千葉県</th> <th>勝数</th> <th>負数</th> <th>勝者数</th> <th>総本数</th> <th>順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長崎県</td> <td></td> <td>4/1</td> <td></td> <td></td> <td>6/2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>福島県</td> <td>4/1</td> <td></td> <td>5/2</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>鳥取県</td> <td></td> <td>3/1</td> <td></td> <td>2/2</td> <td></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>大阪市</td> <td></td> <td></td> <td>6/3</td> <td></td> <td>3/2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>千葉県</td> <td>3/2</td> <td></td> <td></td> <td>5/3</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	5ブロック	長崎県	福島県	鳥取県	大阪市	千葉県	勝数	負数	勝者数	総本数	順位	長崎県		4/1			6/2	1	0	3	10	1	福島県	4/1		5/2			1	0	3	9	2	鳥取県		3/1		2/2		0	2	3	5	5	大阪市			6/3		3/2	1	1	5	9	4	千葉県	3/2			5/3		1	1	5	10	3	<p>決勝トーナメント(1回戦)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>チーム名</th> <th>先鋒</th> <th>中堅</th> <th>副将</th> <th>大将</th> <th>決勝T1回戦3</th> <th>結果</th> <th>主要選手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長崎県</td> <td>小畑</td> <td>古川</td> <td>野副</td> <td>藤下</td> <td>飛永</td> <td>1/0</td> <td>辻山 和良</td> </tr> <tr> <td>自神奈川県B</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>7/3</td> <td>北条 久美子 菅田 将臣</td> </tr> </tbody> </table>	チーム名	先鋒	中堅	副将	大将	決勝T1回戦3	結果	主要選手	長崎県	小畑	古川	野副	藤下	飛永	1/0	辻山 和良	自神奈川県B	×	×	×	×	×	7/3	北条 久美子 菅田 将臣
5ブロック	長崎県	福島県	鳥取県	大阪市	千葉県	勝数	負数	勝者数	総本数	順位																																																																																	
長崎県		4/1			6/2	1	0	3	10	1																																																																																	
福島県	4/1		5/2			1	0	3	9	2																																																																																	
鳥取県		3/1		2/2		0	2	3	5	5																																																																																	
大阪市			6/3		3/2	1	1	5	9	4																																																																																	
千葉県	3/2			5/3		1	1	5	10	3																																																																																	
チーム名	先鋒	中堅	副将	大将	決勝T1回戦3	結果	主要選手																																																																																				
長崎県	小畑	古川	野副	藤下	飛永	1/0	辻山 和良																																																																																				
自神奈川県B	×	×	×	×	×	7/3	北条 久美子 菅田 将臣																																																																																				
<p>監督 石部和彦(東彼杵) 先鋒 小畑享市(県警) 中堅 古川俊樹(県警) 副将 野副伸一郎(諫早) 副将 藤下一次(県警) 大将 飛永一豊(南島原)</p> 	 <p style="text-align: center;">長崎県チーム 代表選手団</p>																																																																																										

報告(3)・令和4年度第69回県下剣道大会


標記大会が令和4年10月23日(日)清々しい秋晴れの中、諫早市の西陵高等学校体育館で3年振りに盛大に開催されました。県内各地から35歳以上13チーム、35歳以下8チームの選手が出場し、熱戦が繰り広げられました。

(県下剣道大会結果詳細は県剣連ホームページに掲載)

<p>学校剣道連</p> 	<p>機動隊</p> 																
<p>35歳以上の部</p> <p><参加チーム 13チーム></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>優勝</td> <td>学校剣道連盟</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>三菱重工 B</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>諫早中年会</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>亥士会</td> </tr> </table>	優勝	学校剣道連盟	2位	三菱重工 B	3位	諫早中年会	3位	亥士会	<p>34歳以下の部</p> <p><参加チーム 8チーム></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>優勝</td> <td>機動隊</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>学校剣道連盟</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>昌風会</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>東彼地区剣道協会</td> </tr> </table>	優勝	機動隊	2位	学校剣道連盟	3位	昌風会	3位	東彼地区剣道協会
優勝	学校剣道連盟																
2位	三菱重工 B																
3位	諫早中年会																
3位	亥士会																
優勝	機動隊																
2位	学校剣道連盟																
3位	昌風会																
3位	東彼地区剣道協会																
 <p>35歳以上の部 優勝 学校剣道連盟</p>	 <p>34歳以下の部 優勝 県警機動隊</p>																
 <p>34歳以下の部 決勝 大将戦</p>	 <p>開会式</p>																


報告(4)・令和4年度第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会結果

標記大会が令和4年9月18日(日)大阪府 おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)において開催されました。本県小学生の部チームが見事、強豪を撃破し、3位入賞を果たしました。中学生は、健闘しましたが惜しくもベスト8という結果でした。本大会で小学生の部でベスト8が最高の成績で初めての入賞でした。中学生の部は前回大会及び第5回大会は優勝、第7回、第11回、第13回は3位で全国に於いても素晴らしい活躍をしています。(大会結果詳細は県剣連ホームページに掲載)

<p>【小学生の部】 優勝 愛媛県 2位 鹿児島県 3位 長崎県 大分県</p> <p>【中学生の部】 優勝 福岡県 2位 大阪府 A 3位 広島県 大分県 ベスト8 長崎県</p>	<p>【小学生の部】 【準決勝戦】 ×長崎県0-3愛媛県 ○</p> <p>【準々決勝】 ○長崎県2-0東京都 ×</p> <p>【決勝トーナメント1回戦】 ○長崎県2-1愛知県 ×</p> <p>【予選リーグ】 ○長崎県4-0埼玉県 × ○長崎県2-2奈良県 × (本数勝ち)</p>	<p>【中学生の部】 【準々決勝】 ×長崎県0-1広島県○</p> <p>【決勝トーナメント】 ○長崎県3-1茨城県×</p> <p>【予選リーグ】 ○長崎県2-0新潟県× ○長崎県2-1岡山県×</p>	 <p>小学生・中学生 長崎県代表チーム</p>
---	--	---	--

報告(5)・令和4年度第57回全国高等専門学校体育大会剣道競技 佐世保高専準優勝

標記大会が8月25日(木)~26日(金)徳島県徳島市とくぎんトモニアリーナで開催されました。大会は団体戦各ブロックの代表12校、個人戦男子31名が出場しました。九州ブロック団体戦代表2校、個人戦4名が出場し、本県からは男子団体・佐世保高等専門学校、男子個人・山下敬太郎(佐世保高専)が出場しました。佐世保高専は予選リーグ1勝1分の1位で通過し、準決勝で佐世保高専3-2 旭川高専(北海道)で勝利し、決勝戦に進出しました。決勝戦では佐世保高専2-2 松江高専(島根)で代表戦の末惜敗しましたが、堂々の準優勝でした。男子個人は1回戦で山下敬太郎(佐世保高専)が織田乾介(高知高専)にコテをとられ1回戦敗退でした。(全国高等専門学校体育大会剣道競技結果詳細は県剣連ホームページに掲載)

<p>男子団体 優勝 松江工業高等専門学校 準優勝 佐世保工業高等専門学校 第3位 石川工業高等専門学校 第3位 旭川工業高等専門学校</p>	<p>男子決勝 ×佐世保高専(長崎)2-2 松江高専(島根)○</p> <p>準決勝 ○佐世保高専(長崎)3-2 旭川高専(北海道)×</p> <p>男子団体戦予選リーグ 1位通過 1勝1分 ×鈴鹿高専(三重)0-4佐世保高専(長崎)○ △弓削商船(愛媛)2-2佐世保高専(長崎)△</p>	
--	--	--

報告(6)・令和4年度第38回 全国道場少年剣道選手権大会

標記大会が令和4年10月16日(日)パークアリーナ小牧(愛知県)にて開催されました。全国道場少年剣道選手権長崎県予選で優勝した小学生個人(男女)、中学生(男女)4名が出場しました。試合結果は中学生男子の部で太田瑛崇(有明振興会)が準々決勝に進出し、優勝した森 大颯(福岡県)に敗れ、敢闘賞のベスト8、小学生男子戸田賢人(黒髪少年剣道育成会)は小学5年生にも関わらず、3回戦に進出し、3位になった笹川武(佐賀県)に敗れ、ベスト16と健闘しました。小学生女子、本城ゆりあ(川棚少年剣友会)は2回戦、中学生女子酒井陽多(橘道場)は1回戦延長戦で惜しくも敗退しました。

(第38回 全国道場少年剣道選手権大会結果詳細は県剣連ホームページに掲載)

<p>【中学生男子の部】太田瑛崇 ベスト8 敢闘賞</p> <p>【準々決勝】 ×太田瑛崇(長崎県)一メコ 森 大颯(福岡県)○</p> <p>【3回戦】 ○太田瑛崇(長崎県)メ一 佐藤理史(宮崎県)×</p> <p>【2回戦】 ○太田瑛崇(長崎県)メ一 松原壮真(鳥取県)×</p> <p>【1回戦】 ○太田瑛崇(長崎県)判定一高松有人(栃木県)×</p>	<p>【小学生男子の部】戸田賢人 ベスト16</p> <p>【3回戦】×戸田賢人(長崎県)メ一メ 笹川武(佐賀県)○</p> <p>【2回戦】○戸田賢人(長崎県)メ一川崎大誠(京都府)×</p> <p>【1回戦】○戸田賢人(長崎県)メ一魚見連司(愛媛県)×</p> <p>【中学生女子の部】</p> <p>【1回戦】×酒井陽多(長崎県)メ一メ 向井優依(神奈川県)○</p> <p>【小学生女子の部】</p> <p>【2回戦】×本城ゆりあ(長崎県)一メ 高鍋 萌(神奈川県)○</p> <p>【1回戦】○本城ゆりあ(長崎県)メ一原 心晴(島根県)×</p>
--	---

報告(7)・令和4年度長崎県剣道連盟主催日本剣道形講習会

標記講習会が令和4年10月8日(土)諫早市小野体育館において実施されました。受審者全員が真剣眼差しで取り組みました。また、講師の剣道教士八段山本昌克先生より日本剣道形における留意点や主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインを踏まえた審査等の留意点の講話と実技指導があり、受講者にとって大変有意義な講習会でした。

※ 参加者：受講者94名+県連役員 7名=101名



講師の山本昌克先生と古川俊樹先生

講義を熱心に受ける受講生

全員で実技講習に取り組む

報告(8)・令和4年度長崎県杖道審査会並びに秋季杖道講習会

令和4年11月13日(日) 諫早市の長田文武館において、杖道審査会並びに秋季講習会が開催されました。審査会には初段から3段まで5名の受審がありました。午後からの講習会には24名の参加があり終日、熱心に受講しました。



杖道級位審査会の様子

杖道の審査会は2人1組で実施

午後からは秋季杖道講習会

読み物(1)・杖道への思い「杖道との出会い」

「杖道との出会い」

9月に杖道を始めたばかりの66才、荘田秀次郎と申します。私が杖道を知ったのは遥か50年以上前、東野英治郎演じる水戸黄門でした。悪人をバツバツとなぎ倒す黄門様を見て『杖道ってカッコイいなあ・・・』と思ったものです。

それから、月日は流れ社会人となり定年間近の一昨年末、健康診断で胃癌が見つかり急遽入院手術となり胃の2/3を切除しました。『人生って何て儚いものだろうと』と打ちひしがれ日頃のジョギングコースの本明川が三途の川に見えたものです。

幸いステージが浅かった為、術後の治療も必要無く定期的に経過観察に通院するに至っています。入院をきっかけに退職する事になったのですが、退職時の挨拶で『胃癌になり会社を辞める事にしました。これがホントの依願退職！ナンチャッテ』とギャグをかました所、場が静まり返ってしまいました。流石に笑えなかったようです。

退職して気づかされた事なのですが、職場以外に近い友人がいない、人と接する機会が極端に減ると言う事でした。その時、水戸黄門を思い出し、長崎成杖会(諫早市)を知り、早速、門を叩いたところです。

素晴らしい師匠、門下生と出会い、気力、体力も少しずつ付いていき、これからの人生が明るく楽しく思えてきました。無理をせず、継続を心掛け末永く続けて行ける様、精進したいと思います。(長崎成杖会 荘田秀次郎)



「杖道フリーイラストより」

杖道イラスト1

諫早神社収穫感謝祭(杖道奉納演武)

「杖道フリーイラストより」

杖道イラスト2

報告(9)・第57回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合

第57回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合が令和4年10月8日(土)東京武道館にて開催されました。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流2本(自由技)、全日本剣道連盟居合3本(指定技)の計5本の技で対戦し、各段の個人のポイントの合計が団体の総合成績となります。本県からは監督として高木志伸居合道教士七段、選手として宮崎大輔(七段の部)、岩男徹史(六段の部)、作永憲昭(五段の部)の3名が参加しました。団体戦の結果は長崎県47都道府県中、29位(2.06点)でした。優勝は東京都、2位千葉県、3位が新潟県でした。個人は七段の部 宮崎大輔が3回戦敗退(ベスト16)、六段の部 岩男徹史2回戦敗退、五段の部 作永憲昭が1回戦敗退でした。

長崎県団体戦 29位(2.06点) 七段 3回戦敗退 宮崎大輔(友朋会 大村市) 六段 2回戦敗退 岩男徹史(厚海会 平戸市) 五段 1回戦敗退 作永憲昭(剣心会 佐世保市)	 <p>全日本居合道大会 長崎県選手団</p>	 <p>宮崎大輔(七段の部)</p>
---	---	---

【五段の部】1回戦

長崎県	作永 憲昭	0	—	3	橋本義彬	兵庫県
-----	-------	---	---	---	------	-----

【六段の部】2回戦

長崎県	岩男徹史	0	—	3	亀井美和	高知県
-----	------	---	---	---	------	-----

【七段の部】3回戦

長崎県	宮崎大輔	0	—	3	ブライヤーボウ	京都府
-----	------	---	---	---	---------	-----

【七段の部】2回戦

長崎県	宮崎大輔	3	—	0	塩見俊夫	大阪府
-----	------	---	---	---	------	-----

報告(10)・第4回長崎県居合道演武大会(団体戦)

標記大会が令和4年10月2日(日)愛野小学校体育館において開催されました。試合は3人一組の団体戦で8チームが参加し、実施されました。先鋒(段外から二段)、中堅(三段から五段)、大将(六段、七段)で各段とも年齢の制限なし、トーナメント形式で計画をしましたが、参加チームが少なく、リーグ戦形式に変更し、各チーム三試合以上実施できて大変好評でした。また、団体戦に出場できなかった選手は公開演武に自由技5本を披露しました。居合道修業で最も大切なことは礼儀にあります、道場を超えた「和気藹々」とした中での居合道の実践的な稽古としての団体戦の大会となりました。

優勝 口之津健武会(南島原市) 準優勝 葉志塾 (佐世保市) 3位 生武館 A (大村市) 3位 生武館 B (大村市)	 <p>長崎居合道演武大会参加者集合写真</p>	 <p>優勝 口之津健武会(南島原市)</p>
 <p>準優勝 葉志塾 (佐世保市)</p>	 <p>3位 生武館 A (大村市)</p>	 <p>3位 生武館 A (大村市)</p>